

学校法人ISI学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジ

Digital Business Syllabus

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	データベースと利用技術Ⅱ（TGB246）	配当学年	2
講義名（コード）	データベースと利用技術Ⅱ（TGB246）	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	グローバルビジネスビジネスコース	講義期間	秋
専攻		履修区分	必修
授業担当者	吉田、居山	授業形態	講義
成績評価教員	吉田、居山	実務者教員	
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	いくつかのスタートアップ企業が現在取り組んでいるビジネスモデルやDXについて実践的な事例研究をすること、および国内外のDX事例を学ぶことによって、起業してDXに取り組むことの価値と課題を習得する
到達目標	各自が起業アイデアを構想し、その提案をプレゼンテーションできるようになる。
全体の内容と概要	連携企業の協力の元で行われるworkshop中心の授業 中に英語のプレゼン訓練も取り込む
授業時間外の学修	登場する連携企業について各自の事前調査を奨励 日本の連携企業の事例研究をヒントとして、類似例などを海外で探すリサーチワーク
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画			
回	日程	講師	授業内容
1	第1週	Creww 伊地知社長 Facilitator	新規事業を構想する Venture Project Workshop 1
2	第2週	KAZAANA	会社・事業概要 創業理念 眠っているMade in Japanの「もったいない」をよみがえらせるビジネスモデル
3	第3週	Facilitator	Venture Project Workshopプロジェクト活動 2
4	第4週	NHKアーカイブセンター 吉田 渉様	メディアとジャーナリズムの変革 新聞・出版・印刷業界の大変革 紙媒体の衰退と電子媒体の席巻、
5	第5週	NHKアーカイブセンター 吉田 渉様	取材、ジャーナリズムの現場 ジャーナリズムの変革と変質 ー「ストーリー性」と「やらせ問題」、「フェイクニュース問題」と炎上含む
6	第6週	NHKアーカイブセンター 吉田 渉様	Workshop 取材のロールプレイング、「事実」の捉え方
7	第7週	NHKアーカイブセンター吉田 渉様	世界のメディア業界 各国メジャー放送局の変革、電子出版産業の成長、新聞社のビジネスモデル変革
8	第8週	Facilitator	Venture Project Workshop プロジェクト活動 3
9	第9週	Facilitator	Venture Project Workshop プロジェクト活動 4
10	第10週	Facilitator	Venture Project Workshop プロジェクト活動 5
11	第11週	Creww 伊地知社長 Facilitator	Venture Project Workshop プロジェクト活動 中間進捗報告
12	第12週	Facilitator	Venture Project Workshop プロジェクト活動 6
13	第13週	Creww 伊地知社長	TBL Colledge Venture Pitch リハーサルと指導
14	第14週	Creww 伊地知社長	TBL Colledge Venture Pitch 企業および取材陣に公開
15	第15週	Facilitator	TBL Colledge Venture Pitchの振り返り 各自卒業レポート作成

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	